

リトルア剤 ヨトウコンー H	取扱メーカー： 協友アグリ、サンケイ、信越化学 原体メーカー： 信越化学
成分： (Z, E)-9,11-テトラデカジエニル＝アセタート…69.7% (Z, E)-9,12-テトラデカジエニル＝アセタート… 7.3%	性状： 淡黄色澄明油状液体（ポリエチレン細管に封入）
	毒性： 普通物 消防法： 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】

●ハスモンヨトウの性フェロモンを有効成分とした交信攪乱剤で、成虫の交尾行動を連続的に阻害することにより、次世代の密度増加を抑制し、被害を減少させる。従って、成虫に対する殺虫作用及び誘引作用は示さない。

●従来の殺虫剤に対して感受性の低下したハスモンヨトウにも有効である。

●ハスモンヨトウのみに作用し、天敵を含む他の生物及び自然環境に影響を与えない。

●有効成分を徐放性ディスペンサーに封入したもので、通常1回の使用で、3～4カ月程度効果が持続する。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

〈使用量〉

●露地の場合（10 a 当り 20cm チューブ 100～1000 本）

対象作物の圃場面積が10ha 以上の場合は、10 a 当り 100 本とし圃場全体に処理する。10ha 未満の場合は、使用量の範囲で、特に周辺部に多めに設置する。

●施設の場合（10 a 当り 50m 巻チューブ 20～200m, 又は 20cm チューブ 100～1000 本）

ハウスの間口約 10m につき 1 本の割合で、50m 巻チューブをハウスの端から端まで張り渡す。また、20cm チューブをハウス内の周辺部分は多めに、中央部分は少なめにし、設置間隔は均等に設置する。

〈使用方法及び取り付け位置〉

●露地の場合

支柱や柵、ネットなどがある圃場では、そこにチューブを取り付ける。取り付ける場所がない圃場では支柱を立て、そこにチューブを取り付ける。取り付けの際、作物の生育や栽培管理作業の支障とならない高さに取り付ける。

●施設の場合

ハウス内のパイプや鉄線などを利用し、施設上部にチューブを取り付ける。露地の場合と同様に、支柱を立てて設置することも可能。

●気温の高い施設では早く効果が低下することがある。ハスモンヨトウの発生期間が長い場合は、2回目の設置を行う。

●既交尾雌には効果がないので、施設で使用する場合は開口部に寒冷紗などを設置し、既交尾雌が外部より侵入しないようにする。

●害虫の発生密度が高い場合には効果が低下することがある。その場合には、他の薬剤と併用するが、天敵に影響を及ぼすビレスロイド剤の使用には十分注意する。

【薬効・薬害等の注意】

●ハスモンヨトウ以外の害虫には効果がないので他の害虫が発生した場合には殺虫剤を使用する。

●使用前は直射日光の当たらない低温な場所（冷蔵保存）に密封したまま保管する。また、開封後は有効成分が揮散するので、使用直前に開封し使いきる。

【適用と使用法】

作物名	適用場所	使用目的	適用害虫名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法
ハスモン ヨトウが 加害する 農作物	ハスモン ヨトウ 加害作物 栽培地帯	交尾阻害	ハスモンヨトウ	成虫発生初 期から終期 まで	20 ～ 200 m (20 cmチューブ の場合 100 ～ 1000 本)	露地（作物上に支柱 等を用いて固定する） 施設（施設内上部に 固定する又は枝等に 巻き付ける）